



川内たかゆき後援会便り

元気みなぎる通信

2016
春号

川内たかゆき後援会

〒 889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX：0986（77）5298

《 3 年目を迎えて 》

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、川内たかゆき並びに後援会に対し多大なるご支援を頂き誠にありがとうございます。

市議会議員として早いもので2年が過ぎました。折り返しを迎え、所属会派や委員会の変更等があり、気持ち新たに3年目に臨むことになりました。山積する課題に対し、一步一步確実に進める想いで取り組んでおりますが、頭と体が中々うまく合致せずやきもきすることが多くなってきました。市民の皆様には、大変申し訳なく感じております。

しかしながら、残り2年という限られた期間で、元気みなぎる都城の実現に向けてしっかりと取り組んでいく所存です。至らない点、頼りない点もあるかと存じますが、この体で持って誠心誠意取り組んでまいります。皆様から、使っていただける、頼っていただけるよう今後も精進して参りますので、引続きの御指導、御支援を賜りますようお願いいたします。



◎平成28年度一般会計当初予算成立

2月26日から3月23日まで3月議会が行われ、新年度の予算と各種事業を審議、採決いたしました。

一般会計当初予算総額は**790億9000万円**（前年比5.3%増）となりました。前々年度、前年度に引き続き都城のもつ

3つの宝をより一層輝かす予算として「農林畜産業の振興」「地の利の活用」「人間力あふれる子どもたちの育成」に引き続き予算が組まれています。

《これまでの議員活動に関連する予算について》

◇農業後継者等支援事業【予算額 1,140万円】

基幹産業である農業を支える若者を支援するため、**国の支援策を受けられない新規就農者の支援を所属していた産業経済委員会や議員活動の中で要望**してきました。今回、意欲ある若者の育成への新規事業として国の基準に漏れる新規就農者を支援する事業が決まりました。今後も、基幹産業である農業を支援していけるよう働きかけを行ってまいります。

◇防災関連事業「後方支援拠点都市推進事業」「災害時拠点強靱化緊急促進事業」

後方支援拠点、防災・災害対応の重要性について**27年9月、12月議会にて一般質問**しております。避難所の老朽化状況や定住自立圏広域連携の重要性、災害時の行政の対応、自主防災組織の結成と活用等について働きかけを行っております。今回、後方支援強化のための広域連携訓練や医師会病院敷地への災害時備蓄倉庫の建設を進める事業が行われます。今後も後方支援拠点としてのまちのあり方、取り組みを働きかけていきます。

◇子ども子育て支援事業「放課後児童クラブ」「地域子育て支援拠点」「不妊治療費助成」

子育てしやすいまち都城にむけて、子ども子育て支援拡充について**27年12月議会にて一般質問**を行っております。放課後児童クラブ事業については、毎年待機児童が出る現状について、児童クラブの増設や児童館の利用しやすい環境の整備、AEDの設置箇所増加などを要望してきております。今回、新たに放課後児童クラブが5カ所増設、子育て支援センター2カ所新設、ファミリーサポートセンター事業として利用料の一部助成等が行われます。また、不妊治療に取り組む夫婦を支援する事業として、不妊治療費助成事業も始まります。今後も、子育てしやすいまち都城を目指し、未来を担う子どもたちの支援に関して、これまで以上に取り組んでまいります。

平成28年3月議会 一般質問抜粋

◎農業振興策について

問本市の基幹産業は農業である。担い手不足や高齢化、TPP対応等課題が山積している。本市として中長期的ビジョンの策定が必要ではないのか？

答）本市の農業就業人口は2010年の8千386人から5千856人に減少し、40歳未満の若年農業者人口の全体に占める割合は、5.6%と非常に少ない状況でございます。特に、本市の農業粗生産額の8割以上を占める畜産農家の減少に伴う出荷頭数の減少については、極めて大きな問題であると考えています。

これまで、本市では、農林畜産業の振興につきまして、やる気のある農林畜産業者の方々へ6次産業化へ向けた取り組みを積極的に支援し、農家所得の向上につながる施策を推進しております。また、畜産振興についても和牛能力共進会での日本一獲得に向けた取り組みを積極的に支援するとともに、都城産宮崎牛のPRも行っております。さらに、圃場区画の拡大など農地整備や畑作営農の確立を図るとともに、担い手の確保及び農地の集積化などの取り組みを進めているところでございます。

今後は、農業のハード、ソフト両面の基盤整備による作業効率や生産性の向上を図り、地域農業経営の安定化と食料の安定供給を目指しもうかる農業の実現に向けた施策の展開が必要と考えております。



◎窓口などの接遇向上について

問接遇向上事業として、平成27年度より取り組んでおり28年度においても事業化されているが、2年で約1000万円をかけてやる事業なのか。0予算で職員の意識向上でもって取り組むべきではないか？

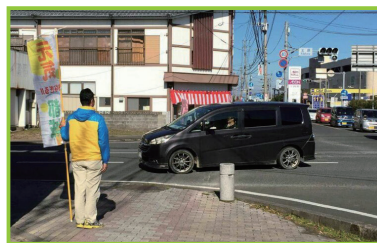
答）取り組みの成果といたしまして、接遇モニタリング調査結果では、研修実施前の達成率が68.8%だったのに対し、研修実施後の達成率は、78%で9.2ポイント上昇しました。特に、窓口対応につきましては、研修実施前の達成率が63.8%だったのに対し、研修実施後の達成率は75.6%で11.8ポイント上昇しております。

一方で、職員のあいさつや身だしなみ、説明の仕方などについてご指摘をいただいております。改善しなければならない点もあることから、更なる接遇向上のため、引き続き取り組みを推進してまいります。

平成28年度の事業内容といたしましては、新たに接遇ワッペンを作成し、職員一人一人が接遇目標を掲げ、その目標をワッペンに記入して常時着用することにより、常日頃から接遇向上の意識を持ち対応する事で、職員の接遇向上を図り、民間トップレベルと同等の接遇を目指してまいります。



《最近の活動報告》



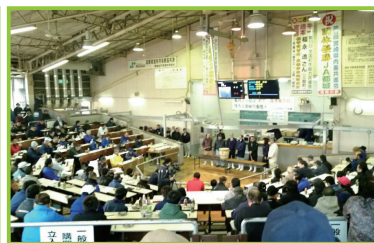
【1月1日 街頭辻立ち】



【山之口新春マラソン】



【都城市消防団 出初式】



【和牛子牛 初競り】



【わけものの主張 県大会】



【青井岳山開き実行委員会】



【会派研修 北九州・豊後高田】



【どんぐり1000年の森 植樹】

【議会所属変更など】

◎所属委員会：議会運営委員会（連続）、総務委員会 副委員長（前産業経済）、広報広聴委員会 副委員長（連続）

◎会 派：進政会（前市民同志会）都城市議会最大会派8名（28.4.1現在）

会派構成：蔵屋保議員、永田浩一議員、坂元良之議員、永山透議員（前議長）、相葉一夫議員、荒神稔議員（議長）、長友潤治議員